

情報公開文書

研究課題名	20年の脳出血手術の変遷と術式による有効性と安全性
研究期間	実施許可日 ～ 西暦 2025年 3月 31日 (症例対象期間：西暦 1999年1月1日～ 西暦 2023年12月31日)
研究の目的と意義	脳出血に対する手術加療は救命目的の手術を除いて明確な指針が存在せず、内視鏡血腫除去(ES)、定位血腫除去(SA)、開頭血腫除去術(CC)の3つの選択肢が長年議論されてきました。それぞれの手術加療の有効性については、近年のランダム化比較試験を対象としたネットワークメタ解析の結果では、ESやSAが内科的治療と比較して優越性が示されたものの、手術群間では優位な差は示されませんでした。ランダム化比較試験に組み込まれる対象症例は60歳前後の症例がほとんどであり、現在の日本の治療に当てはめるには限界があります。本研究は、そのような限界を超え、脳出血に対する手術のリアルワールドエビデンスを創出することを目的とします。
研究方法	日本脳卒中データバンク事業に登録されたデータを利用します。1999年1月1日から2023年12月31日までの期間に、脳出血の診断で入院加療となった患者様が対象です。対象となる患者様の入院年・年齢・性別・発症前生活自立度・既往症・来院時神経学的所見・来院時意識状態・血腫部位・血腫量の情報を利用いたします。研究の方法などに疑問点などがある場合には、下記連絡先までご連絡ください。研究の独創性、個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲において資料の公表をいたします。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。
問合せ先	京都第二赤十字病院 (職名・氏名) 脳神経外科 藤原岳 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)